

PRESS RELEASE

<報道関係各位>

2026年4月7日
株式会社サンリオエンターテイメント

ハーモニーランド“エンタメリゾート化”に向け連携
**株式会社サンリオエンターテイメント、杵築市、日出町が
「フレンドシップ宣言」三者で持続可能な地域発展を推進**
ハローキティやクロミなど人気キャラクターも登場した宣言セレモニーの様子をお届け

テーマパーク「サンリオキャラクターパーク ハーモニーランド」(大分県速見郡日出町)を運営する株式会社サンリオエンターテイメント(本社:東京都多摩市、代表取締役社長:小巻亜矢)は、ハーモニーランドの“エンタメリゾート化”に向け、2026年4月7日(火)に杵築市(市長:永松悟)および日出町(町長:安部徹也)とフレンドシップ宣言セレモニーをハーモニーランドにて開催しました。



サンリオエンターテイメントは、2024年12月にハーモニーランドを観光・地域資源・体験価値を融合させた滞在型エンターテインメント拠点へと進化させる“エンタメリゾート化”を含む包括連携協定を大分県と締結しました。以降、大分空港の愛称を「大分ハローキティ空港」とするなど、県内全体での協業を強化し、昨年12月には“エンタメリゾート化”の基本構想を発表。“世界でいちばんやさしい場所”を目指し、新たな観光拠点へと進化いたします。

そんな“エンタメリゾート化”をさらに具体化する取り組みとして、2026年2月には日出町、同年3月には杵築市ともそれぞれ包括連携協定を締結。地域とともに未来を創る新たなフェーズを始動いたしました。

そしてこの度、サンリオエンターテイメント、杵築市、日出町の三者が相互に深い友好関係を築き、「一つの大きな輪」となり、地域の輝く未来を共に切り拓いていくために、フレンドシップ宣言を行いました。本宣言は、「みんななかよく」の理念のもと、地域が一体となり、交流・発展・共助の観点から連携を強化していくことを目的としています。

宣言セレモニー当日は、サンリオエンターテイメントの代表取締役社長 小巻亜矢、杵築市の市長 永松悟、日出町の町長 安部徹也が登場し、フレンドシップ宣言事項を伝え、フレンドシップ宣言書へ署名しました。また、スペシャルゲストとしてハローキティ、シナモロール、ポムポムプリン、マイメロディ、クロミも登場し、会場を盛り上げました。三者代表からのコメントとして、杵築市 永松市長は「年齢やハンディキャップを問わずハーモニーランドを楽しめるよう、日々進化するハーモニーランドに期待している」、日出町 安部町長は「杵築市と日出町が協力し、多くの企業、関係者のみなさまの力を借りながら、全力でエンタメリゾート化に取り組んでまいります。」と語りました。さらに、サンリオエンターテイメント代表取締役社長 小巻亜矢は、「フレンドシップ宣言セレモニーは『みんななかよく』の思いを持ってくださっている杵築市と日出町のご協力があったから実現できた。杵築市、日出町から始まった『みんななかよく』の輪が大きな輪となって、世界中へ広がっていくことを心から願っています。」と今後の展望を語りました。セレモニーの最後は、これからの未来へと共に歩むべく三者が手を重ね、温かく力強いつながりが感じられる締めくくりとなりました。

今後は、本宣言に基づき、ハーモニーランドの“エンタメリゾート化”と連動した観光振興および地域活性化を両輪として、三者でなかよく持続可能なまちづくりを推進してまいります。

■フレンドシップ宣言事項：

1. 地域の絆を育む（交流）

私たちは、世代や立場を超えた心の通う交流を促進し、誰もが笑顔で暮らせる温かい地域コミュニティを共に築きます。

2. 地域の活力を創り出す（発展）

私たちは、それぞれの知恵と資源を融合させ、産業、観光、文化の振興、福祉の充実を通じて、地域に新たな活力と価値を創出します。

3. 地域の安心を支え合う（共助）

私たちは、困難な時こそ共に手を取り合い、助け合いの精神をもって、安全で安心な地域社会を維持・発展させます。

■三者によるフレンドシップ宣言セレモニーの様子



※画像素材ご掲載の際は、必ずコピーライトの記載をお願いいたします。
© 2026 SANRIO CO., LTD. TOKYO, JAPAN 著作 株式会社サンリオ